目次

監査記録の使用 1
監査記録の確認 1
主なフィルターの詳細内容 2
[日時(Datetime)] 2
[ユーザー(User)] 2
[BioStar操作権限(Operator Level)] 3
[接続IP(IP)] 3
[カテゴリー(Category)] 3
[ターゲット(Target)] 3
[動作(Action)] 3
[フィルター保存(Save Filter)] 3
[CSVエクスポート(CSV Export)] 4
[カラム設定(Column Setting)] 4

システム構成, BioStar 2

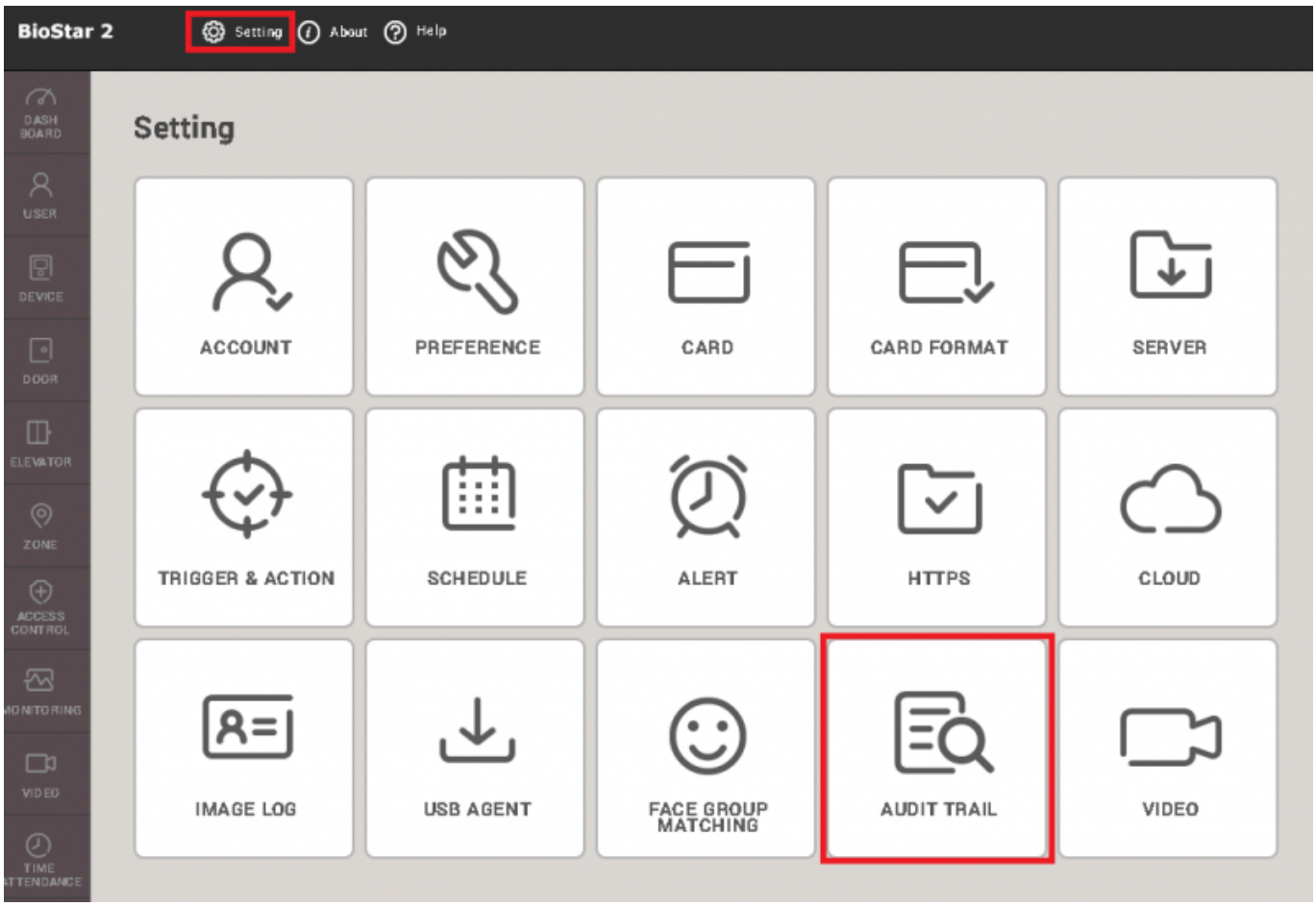
監査記録の使用

監査記録はBioStar
2.5.0の新たな機能の1つで、システム管理者の全ての行動を確認するための機能です。この機能は
BioStar
2にログインしたシステム管理者が生成、修正、削除したデータが何か確認できるようサポートします。

> **編集された値に対する情報が表示されません。**
> 監査記録には編集された項目が表示されますが、変更された価格は表示されません。
> 例えばユーザーのメールアドレスを変更した場合、ログにメールアドレス項目が変更されたことが表示されますが、変更されたメールアドレス自体は表示されません。

監査記録の確認

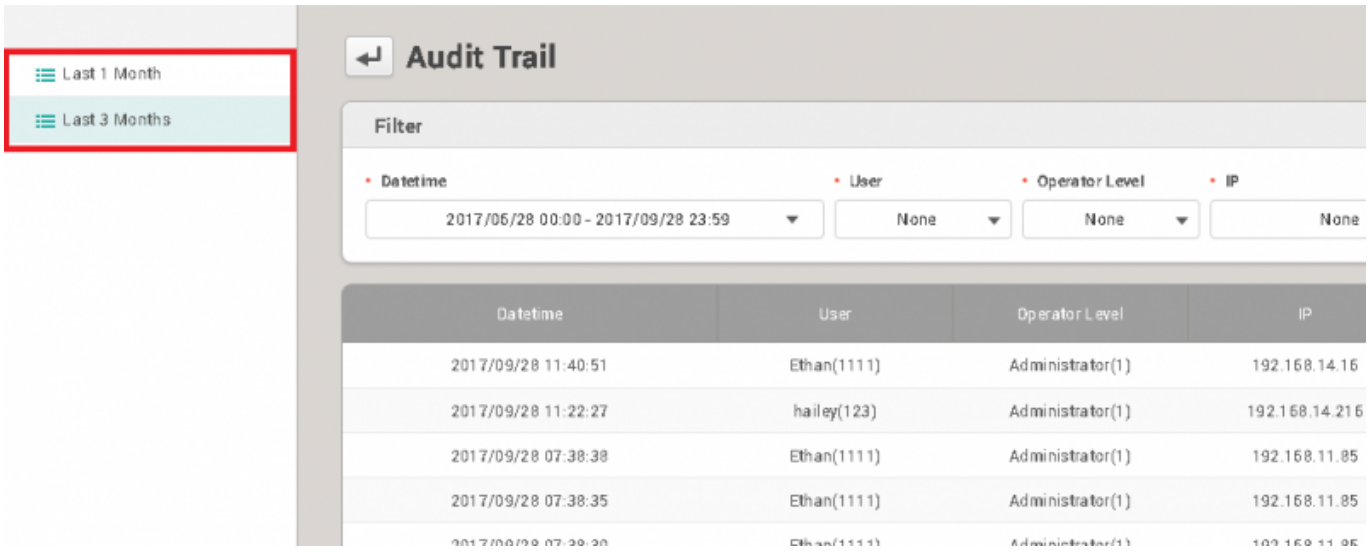
設定(Setting) > 監査記録(AUDIT TRAIL)に移動してください。監査記録画面が表示されます。



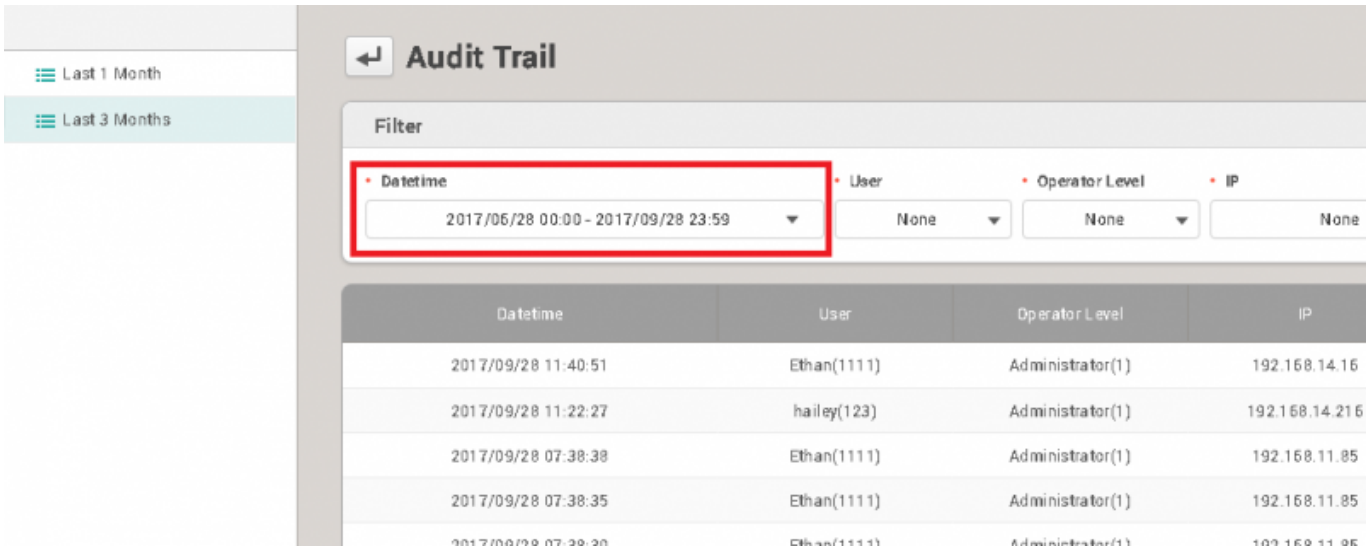
主なフィルターの詳細内容

[日時(Datetime)]

基本的に過去1ヶ月、または3ヶ月間の監査記録に対する記録が確認できます。



また、日時(Datetime)フィルターから確認する特定期間を指定して設定することもできます。



[ユーザー(User)]

ユーザー名やIDでユーザーが検索できます。ユーザー情報を入力した後、**検索および選択(Enter)**を押してください。該当項目を確認できます。

[BioStar操作権限(Operator Level)]

監査記録に記録されたBioStar操作権限を検索できます。権限レベル情報を入力した後、
検索および選択(Enter)を押してください。該当項目を確認できます。

[接続IP(IP)]

IPが検索できます。IP情報を入力した後、**検索および選択(Enter)**
を押してください。該当項目を確認できます

[カテゴリー(Category)]

様々なカテゴリーが選択できます。

[ターゲット(Target)]

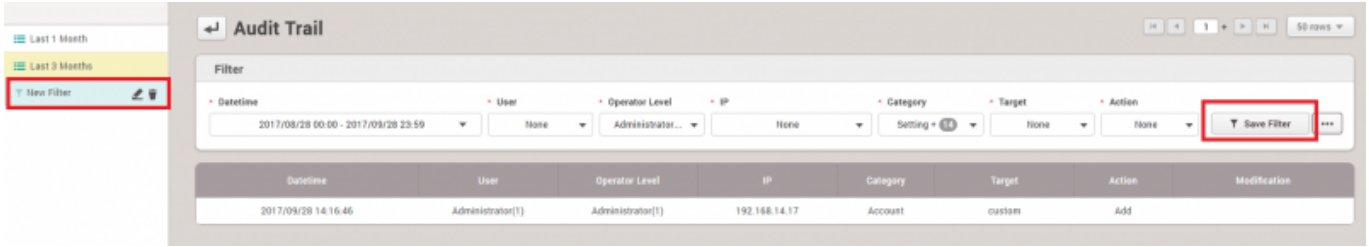
デバイスやユーザー等の特定対象が選択できます。

[動作(Action)]

様々なカテゴリーが選択できます。

[フィルター保存(Save Filter)]

ユーザー定義フィルターが保存できます。

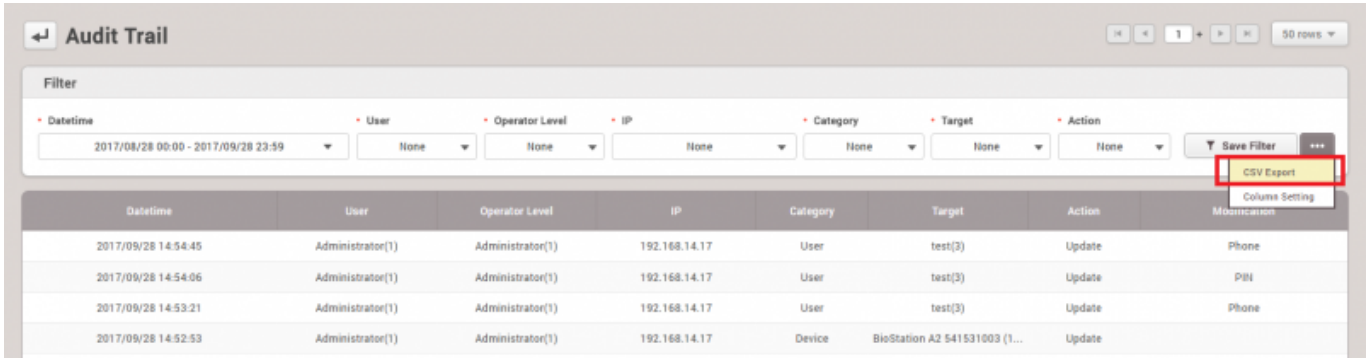


> BioStar
> 2.5.0では複数のユーザー定義フィルターの保存はできず、1つのフィルターのみ生成が可能です。

> これはBioStar 2の今後のバージョンで改善される予定です。

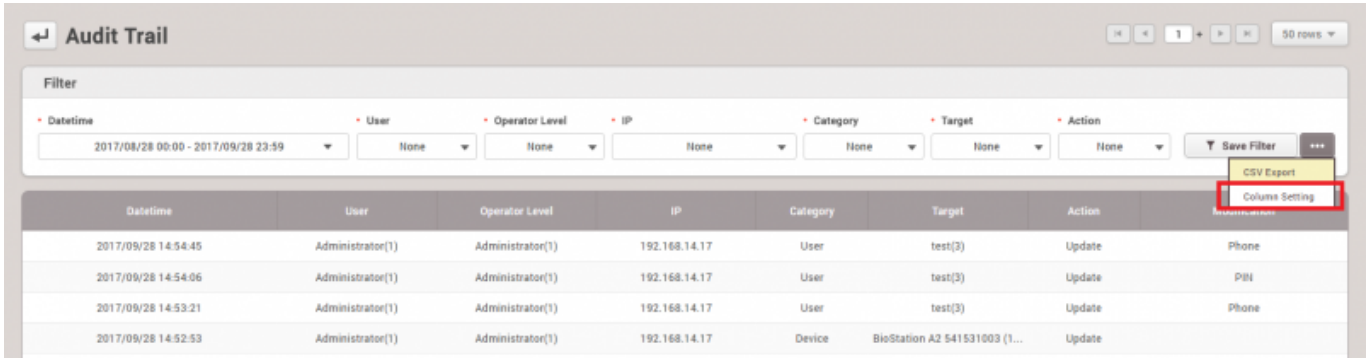
[CSVエクスポート(CSV Export)]

*.csvファイルをエクスポートすることができます。



[カラム設定(Column Setting)]

列リストに表示する列を選択できます。



From:
http://kb.supremainc.com/knowledge/ -

Permanent link:
http://kb.supremainc.com/knowledge/doku.php?id=ja:how_to_use_audit_trail

Last update: **2019/08/27 13:56**